

認知症に関する活動計画(概要)

茨城県作業療法士会では、以下の活動計画を中心に活動を進めております。

- ①認知症の正しい理解と作業療法との関りを啓発
 - 1) VR認知症体験会
 - 2) 同体験会の開催を広める為のシステム考案
 - ・体験会のマニュアル整備
 - ・VR機器の貸し出しおよび販売事業
- ②認知症の人と家族の会茨城支部との連携、協働
- ③その他行政等の認知症関連事業、イベントへの支援



認知症の理解と作業療法の深い関りを啓発

主たるツールとして士会独自のVR・AR認知症体験ソフトと、協会作成のDVD「二本の傘」の上映とを合わせて、認知症を知り・考える時間をマネジメントしております。体験ソフトはレビー小体型認知症の「幻視体験」およびアルツハイマー型認知症の当事者の体験を基にした「帰宅路ミス体験」を開催しております。

2017年から依頼元の各事業とコラボレーションさせて頂き、継続的に体験会を開催してきました。昨年度は、10件の依頼に応じ、283名の方にVR認知症体験を提供致しました。

依頼元は高齢者サロンなど地域団体、医療介護福祉専門職等の教育機関、高等学校、行政主催のイベント、チームオレンジ研修など、多世代に渡り認知症と作業療法の理解促進に取り組んでおります。



直近の2年では全てのご依頼に応じきる事が叶わず、マンパワーの限界を感じております。そこで、10年に近づく本事業のノウハウをマニュアルとして整備し、VR機器の貸し出しや販売を行う事で、より活動が広がるチャンスを広げたいと考えております。

もちろん渡したい自身も「認知症に作業療法という選択肢を」というキャッチコピーを掲げ、VR認知症体験により、正しい知識の広がりや作業療法との繋がりを1つずつ紡いでいく事に尽力して参ります。

認知症VR体験事業のご案内

紹介、貸出、販売のインフォメーションがございました



茨城県作業療法士会のHPにつながります。

認知症の人と家族の会との連携事業

茨城支部の代表からお声掛け頂き、今年度より委員の1名が認知症の人と家族の会「世話人」に就任いたしました。双方の事業理解と情報共有を進め、協働する具体的な形を模索しております。今年度は「男性介護者のつどい」での協働が決定しており、支え合える関係を構築して参ります。